

クラブアドバイザーも資質・技術の向上を目指しています！

クラブを運営されているみなさまに寄り添って活動をしているクラブアドバイザー。そのクラブアドバイザーが一堂に会して資質・技術向上のための研修を毎年受けています。

その研修の様子をご紹介します！

クラブアドバイザーとは？

クラブアドバイザーは、総合型クラブが地域スポーツの担い手として重要な役割を果たしていけるよう、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスすることを目的に活動しています。

平成30年度、日本スポーツ協会は21道府県体育・スポーツ協会に21名のクラブアドバイザーを配置しています。

クラブアドバイザーミーティングとは？

日本スポーツ協会が配置しているクラブアドバイザー等を対象に、その資質と技能の向上を図ることを目的に実施している研修会です。

平成29年度に策定された「日本スポーツ協会スポーツ推進方策2018」及び「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018」をメインテーマに、5月31日(木)・6月1日(金)の日程で行われました。

1日目 5/31(木)

▼講演兼アイスブレイク▼

「相手を動かす必殺のプレゼンテーションスキル習得セミナー」

講師：阿部 雅行氏(株式会社 ボディチューン・パートナーズ)

日本スポーツ協会総合画委員会 企画部会員)

クラブアドバイザーは、クラブ訪問等において、伝える力が重要になってくることから、「プレゼンテーションスキル」にスポットを当て、年間250回の企業研修に登壇する講師として、年間1万人のビジネスパーソンに向けてビジネスと健康のスキルアップをサポートしている阿部氏にご講演いただきました。

講演では、相手と合意形成するためには、相手を理解することが必要となってくることから、人の行動傾向を4つに類型化したソーシャルスタイル理論や対立の種類・解決法について学びました。



2日目 6/1(金)

▼説明▼

「スポーツ推進方策2018」、「育成プラン2018」について
説明者: 日本スポーツ協会 クラブ育成課職員

日本スポーツ協会職員から、平成29年度に策定された「日本スポーツ協会スポーツ推進方策2018」、「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018」の概要に加え、現在本会内で取りまとめ作業を行っている「提言『今後の地域スポーツ体制の在り方について—ジュニアスポーツを中心として—』(中間まとめ)」について説明しました。

≪日本スポーツ協会スポーツ推進方策2018 詳細はこちら(本会ホームページ)≫
<http://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#01>

≪総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018 詳細はこちら(本会ホームページ)≫
<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid394.html>

≪提言「今後の地域スポーツ体制の在り方について—ジュニアスポーツを中心として—」
詳細はこちら(本会ホームページ)≫
<http://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#04>



▼グループワーク▼

「スポーツ推進方策2018」、「育成プラン2018」の具現化に向けてできること

午前の説明を踏まえて、「総合型クラブが学校運動部活動と連携するためには」をテーマとしたグループワークを行いました。

グループワーク内容（一部）

各都道府県の総合型クラブと学校運動部活動の連携事例を共有した他、各グループの発表では、総合型クラブが学校運動部活動と連携するためには「総合型クラブの認知度不足」や「関係者間のコミュニケーション不足」といった課題を指摘する意見や、「総合型クラブが学校管理を担えるようになればよいのではないか」といった提案などがなされました。



今回参加者からいただいた意見は、今後本会が学校運動部活動との連携に関する取組を検討する際の参考といたします。